

県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方  
に関する検討会議

(第1回)

日時：平成29年6月9日(金)

10:00～11:30

会場：岩手県民会館 第1会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 議 題

(1) 委員長、副委員長の選任について

(2) 県立高等学校の現状等について

(3) 県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方における

論点(たたき台)について

(4) 今後のスケジュール(予定)について

5 そ の 他

6 閉 会

# 県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方に関する検討会議 設置要綱

(設置)

第1 新たな県立高等学校再編計画の推進に当たり、ふるさと振興の観点等から学校の魅力づくりを推進する地域の取組を踏まえ、生徒の多様な受入れのあり方について検討するため、県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方に関する検討会議（以下「会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2 会議は、次の事項について検討を行い、岩手県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

- (1) 県外からの入学志願者の受入れのあり方に関する事
- (2) 現状と課題を踏まえた通学区域のあり方に関する事
- (3) その他定員を充足するためのあり方に関する事

(組織等)

第3 会議は、委員15名以内をもって組織する。

2 会議の委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 教育関係団体の役職員
- (3) 市町村教育長
- (4) 産業関係者
- (5) その他委員として適当と認められる者

(任期)

第4 委員の任期は、第2に掲げる検討が終了するまでとする。

2 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5 会議に、委員長及び副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第6 会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員長は、必要があるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第7 会議の庶務は、岩手県教育委員会事務局学校調整課において処理する。

(補則)

第8 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月24日から施行する。

県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方に関する検討会議

委員名簿

(50音順)

氏名	所属・職名等	備考
阿部 徹	岩手県立盛岡工業高等学校長	
五十嵐 のぶ代	岩手県PTA連合会 会長	
伊藤 晃二	宮古市教育委員会 教育長	
金田 一文紀	岩手県教職員組合 書記長	
久慈 竜也	株式会社久慈設計 代表取締役社長 岩手県産業教育振興会 理事	
佐々木 秀市	岩手県高等学校教職員組合 書記長	
高橋 清之	盛岡市立下橋中学校長 岩手県中学校長会 会長	
田代 高章	岩手大学教育学部 教授	
千葉 祐悦	金ヶ崎町教育委員会 教育長	
土川 敦	岩手県立一関第一高等学校長 岩手県高等学校長協会 副会長	
渡辺 正和	岩手県高等学校PTA連合会 会長	

## 事務局

所 属 ・ 役 職	氏 名
教育長	高 橋 嘉 行
教育次長	岩 井 昭
学校教育課 首席指導主事兼総括課長	中 島 新
学校調整課 総括課長	小 久 保 智 史
学校教育課 首席指導主事兼高校教育課長	佐 藤 有
学校調整課 高校改革課長	藤 澤 良 志
学校教育課 高校教育担当 主任指導主事	中 村 智 和
学校教育課 高校教育担当 主任指導主事	亀 山 丈
学校教育課 高校教育担当 主任指導主事	佐 藤 守
学校教育課 高校教育担当 主任指導主事	上 野 光 久
学校調整課 高校改革担当 主任指導主事	村 山 薫 美
学校調整課 高校改革担当 主査	梅 澤 貴 次
学校調整課 高校改革担当 指導主事	宇 夫 方 聰
学校調整課 高校改革担当 指導主事	市 丸 成 彦

## 県立高等学校の現状等について

### 1 生徒の多様な受入れのあり方を検討する経緯

岩手県教育委員会では、平成12年度に「県立高等学校新整備計画」を策定し、生徒急減期に対応した県立高等学校の再編整備に取り組み、さらに平成22年度には「今後の高等学校教育の基本的方向」（以下「基本的方向」という。）を策定し、新たな再編整備に向けた計画策定の作業を進めてきたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波による甚大な被害及びその影響を考慮し、計画策定の作業を中断した。

平成26年度に入り、震災から約3年が経過し、少子化の一層の進行や社会状況の変化等を踏まえ、計画策定作業を再開することとし、震災の影響等も考慮した基本的方向の見直しに向け、平成26年5月に外部有識者を委員とする県立高等学校教育の在り方検討委員会を設置し、今後の県立高等学校のあり方について検討を重ね、平成26年12月に報告書の提出を受け、その報告及び県民の皆様の御意見等をいただき、先に策定した基本的方向を平成27年4月に改訂した。

平成27年度には、県内9ブロックにおいて、改訂した基本的方向及び平成27年12月に公表した「新たな県立高等学校再編計画（案）」について、パブリック・コメント等の意見を踏まえ、平成28年3月に望ましい学校規模の確保による教育の質の保証と、本県の地理的諸条件等を踏まえた教育の機会の保障を大きな柱とした「新たな県立高等学校再編計画」を策定し、現在、その着実な推進に取り組んでいるところである。【参考資料No.1 参照】

しかし、将来的に中学校卒業予定者は更なる減少が見込まれ、各高校における入学者の確保がより一層困難な状況になること等が予想される。そのため、将来を担う人材育成を目的として、地域の魅力を生かし、県外及び県内他地域からの生徒の受け入れに取り組んでいる自治体もある。

このような状況から、県教育委員会では、「県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方に関する検討会議」を設置し、地方創生に取り組む地域等から要望のある県外からの入学志願者の受け入れのあり方や、これまでも入試制度とともに議論されてきた通学区域のあり方等について、本県の実態も踏まえ、ふるさと振興の観点も含めて幅広く検討を行うこととしたものである。

### 2 県立高等学校の現状等

#### (1) 県立高等学校の現状について

##### ア 中学校卒業生数等

本県における中学校卒業生数は、平成元年の22,833人を境に減少に転じて以来、平成21年3月は13,678人、平成28年3月は12,092人となっている。

このため、高等学校への入学者数も平成元年度以降減少傾向にあり、平成29年度の入学者数は、11,859人となっている。【参考資料No.2 参照】

なお、平成27年から平成29年の平均では、中学校卒業生のうち、186人が県外の高校に進学しているほか、県内の高等専門学校及び特別支援学校高等部に272人が進学している。また、逆に県外から本県公立高等学校への入学者は84人となっている。

## イ 学校数

平成29年度現在、全日制課程の県立高等学校は63校設置されている。

1校あたりの平均学級数は4.02であり、全日制課程の望ましい学校規模としている1学年4～6学級の学校は31校である。一方、岩手県の広大な県土面積や通学の利便性など本県の特殊性から、募集学級数が3学級以下の学校は42.9%となっており、全国(H28年度)の19.7%を大きく上回っている。

## ウ 学科の構成

平成29年度における県立高等学校全日制課程の学科別募集学級数は、普通系学科146（普通科121、普通・理数科24、体育科1）、職業教育を中心とする専門学科77（農業科14、工業科36、商業科20、水産科3、家庭科4）、総合学科30の合計253学級となっている。

これに盛岡市立高等学校の普通科5、商業科2を含め、本県の公立高等学校全日制課程の募集学級数は260学級となっている。

なお、公立高等学校全日制課程における普通科系学科、専門学科及び総合学科の設置割合は、58.1：30.4：11.5となっており、全国(H28年度)の割合、69.0：23.7：7.3と比較すると、普通系学科の割合が低く、専門学科及び総合学科の割合が高い状況になっている。

## (2) 入学者選抜について

### ア 県立高等学校の募集定員・合格者等の状況

平成29年度の県立高等学校の募集定員・合格者数等の状況は、全日制課程においては、募集定員10,120人に対して総受検者数9,660人、うち合格者数8,673人で過不足数▲1,447人となっている。定時制課程は、募集定員560人に対して総受検者数116人、うち合格者数104人で過不足数▲456人、通信制課程は、募集定員300人に対して総受検者数30人、うち合格者数23人で過不足数▲277人となっている。【参考資料No.3、No.4 参照】

## イ 県外から県内への志願

県外から県内の公立高校への出願については、「県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定」に基づき出願が可能な地域を除き、原則として保護者の転勤による県内への一家転住等、特別の事由がある場合に限られている。

しかし、中学校卒業者数の減少に伴い募集定員の確保が困難となっている高校が所在する地域では、近年、県外及び県内他地域からの生徒の受入態勢を整える等の取組も見られる。

例えば葛巻町は、「くずまき山村留学生」として葛巻高校に入学を希望する生徒に、町内にある宿泊施設を学生寮として提供する等、生徒の生活環境を整えていることから、県教育委員会と事前に協議したうえで、県外からの志願を特別に認めている。

また、種市高校海洋開発科は全国で唯一、潜水と土木の基礎的知識と技術を学ぶことのできる学科で、産学官が連携協定を結び潜水土となる人材育成に取り組み始めたことから、今後の入学志願者の増加が期待される。

さらに、水沢農業高校農業科学科では地域産業と関わる科目として「馬学」を開設していること等から、県外からの志願を特別に認めている。【参考資料No.5 参照】

なお、全国的には、地元の高校の生徒減少に危機感を持った市町村が、主体的に地域や高校

の魅力向上に取り組む事例も見られる。【参考資料No.6 参照】

### (3) 通学区域（学区）について

県立高等学校の学区については、高等学校教育の普及とその機会均等を図るため、昭和32年に制定した「岩手県立高等学校の通学区域に関する規則」によって定めており、現在は、全県を8つの学区に分割している。【参考資料No.7、No.8参照】

ただし、本県では、専門学科及び総合学科は全県一区としており、学区制限を受けるのは、一般入学者選抜の普通科<sup>※1</sup>を履修しようとする生徒であるが、普通科においても、学区外からの生徒受け入れは1学年定員の10%の範囲内で可能<sup>※2</sup>としている。【参考資料No.9、No.10参照】

なお、全国的には学区を撤廃する傾向にあり、平成29年度入試では25都府県が1学区制となっている。

※1 普通科のうち、盛岡南高校（体育コース）、不来方高校（体育学系、芸術学系、外国語学系）、花巻南高校（スポーツ健康科学学系、国際科学学系）、西和賀高校（福祉・情報コース）は全県一区としている。

※2 学区外からの生徒受入について、一般入試の志願者数が募集定員を超えない場合は、学区外許容率（募集定員の10%）を超えて入学を許可することができるとしている。

## 県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方の論点（たたき台）について

### 1 県外からの志願者の受入れのあり方（検討事項1）

#### 〔現状〕

県外からの志願については、保護者の転勤による県内への一家転住等、特別な事由がある場合に限っている。（岩手県立高等学校入学者選抜実施要項）

しかし、地方創生に取り組む地域等では、地域の魅力を生かして将来を担う人材を育成するため、所在する高校に県外からの入学志願者を受け入れる状況も見られる。

#### 〔課題〕

- 県内の生徒の学ぶ機会の確保は必要であること。
- 地域の将来を担う人材の確保が必要であること。

#### 〔論点〕

- 県外からの志願者の受け入れを認めるか。
- 県外からの志願者を認める場合、一定の条件は必要か。
- 一定の条件として、どのようなことが考えられるか。

### 2 通学区域のあり方（検討事項2）

#### 〔現状〕

通学区域は、高等学校教育の機会の均等と、生徒の就学、通学の適正を図るために定めている。これまで、入学者選抜のあり方検討と併せて制度を見直しており、平成16年度に現在の8学区（学区外許容率10%）となっている。

学区外許容率を定め、学区外からの入学も認められているものの、より一層の機会均等を理由とした見直しの要望もある。

#### 〔課題〕

- 学区の維持（他学区への生徒の流出を防止）・見直し（生徒の学校選択の機会を拡大）双方の意見があること。
- 本県の地理的条件等を考慮した検討が必要であること。

#### 〔論点〕

- 現行の通学区域の状況下で、生徒の学校選択等に具体的にどのような影響があるのか。
- 多様な地域の実態に応じつつ、教育の質の向上と機会の保障を実現するためには、どのような方策が考えられるか。



## 今後のスケジュール（予定）について

[平成29年度]

- ・ 市町村教育委員会及び関係団体等との意見交換
- ・ 学校等へのアンケートの実施

○ 第2回

- ・ 意見交換及びアンケートの結果について
- ・ 論点について（論点整理①）

○ 第3回

- ・ 論点について（論点整理②）

[平成30年度]

○ 第4回

- ・ 県立高等学校における生徒の多様な受入れのあり方に関する報告書（案）の検討

# 参 考 資 料

- 新たな県立高等学校再編計画（概要版）…………… 参考資料No.1
- 岩手県における中学校卒業生数及び高校入学者数の推移…………… 参考資料No. 2
- 岩手県立高等学校入学者選抜の概況…………… 参考資料No. 3
- 岩手県立高等学校募集定員・合格者数等一覧表（H27年度～H29年度）  
…………… 参考資料No. 4
- 県外から県内への志願の取扱いについて…………… 参考資料No. 5
- 他県における市町村と県立高等学校の連携事例…………… 参考資料No. 6
- 通学区域（学区）について…………… 参考資料No. 7
- 学区と高校配置に関する地区割、ブロックの県立高等学校の配置  
…………… 参考資料No. 8
- 普通科における一般入試学区外志願者数…………… 参考資料No. 9
- ブロック間交流【3年間（H26・27・28）の平均】…………… 参考資料No.10

# 新たな県立高等学校再編計画の概要

—平成28年度から平成37年度までの10か年計画—

岩手県教育委員会  
平成28年7月

県教育委員会では、少子化に伴い生徒が減少する中で、東日本大震災津波による甚大な被害や、社会状況の変化を踏まえ、岩手の将来を担う人づくりを進めるため、様々な機会をとらえ、高校再編に向けた県民の皆様の御意見を伺ってきました。

再編計画はいただいた意見を十分に勘案し、具体的な県立高等学校の再編を示したものです。  
この再編計画を基本として、本県における高校教育のより一層の充実を図ります。

## 高校教育の現状と課題

### 教育を取り巻く環境の変化

- インターネット社会の進展、グローバル化、高度情報化

### 東日本大震災津波による被災

- 甚大な人的、物的被害の発生
- 震災に起因するストレスを抱えている生徒
- 震災直後の避難所等での献身的な活動

### 生徒の状況

- 基礎学力の定着が不十分
- 特別な支援を必要としている生徒の増加
- 忍耐力、協調性等の資質を有する生徒

### 定時制課程等の役割の変化

- 働きながら学ぶ生徒の減少
- 不登校経験者の増加

### 少子化による生徒減少

- |  |                  |
|--|------------------|
| ○ 中学校卒業予定者数の減少                         | ○ 学校の小規模校化       |
| [平成12年3月] 17,874人                      | 1校当たりの平均学級数      |
| [平成27年3月] 12,088人                      | [平成27年度] 4.05学級  |
| [平成37年3月] 約 9,800人                     | [平成37年度] 約2.90学級 |
| H27→H37 約2,280人減 約57学級の減に相当 (1学級40人換算) |                  |

現状のまま、生徒の減少が進んだ場合、

- ・ 生徒の多様な進路希望に対応する科目の開設が困難に。
- ・ 設置する部活動の数、部員数が減少し、活動自体が困難に。
- ・ 生徒が、多くの人と交流し、集団の中での経験を積むことが不足しがちに。

このような課題が、小規模となる大半の高校で顕在化し、**生徒の希望する進路実現が難しくなり、さらに教育の質の維持も困難となることにより、さらなる生徒減少を招くことが懸念されます。**

このような社会状況の変化や、生徒減少に対応していくためには、**様々な取組を通じて、高校の魅力を高めていくことが求められます。**

## 魅力ある高校づくりに向けて

### ◎ 岩手の高校教育の目的

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成 = 自立した社会人としての資質を有する人財(生徒)の育成

### ○ 今後の高校教育の方向性

- ・ 全ての生徒へ生活面、学習面における基礎・基本の定着と基礎・基本を活用する力を育成する取組の推進
- ・ 様々な分野におけるリーダー、担い手を育成する視点を重視しつつ、生徒の進路実現に向けた取組を推進
- ・ 復興教育を一層推進し、地域産業、今後のいわての復興・発展を支え、ふるさとを守る人材を育成
- ・ 義務教育でのキャリア教育を基本に、生徒の進路意識を高め、自立した社会人としての資質を有する人材を育成
- ・ 生徒減少が見込まれる中で、**適切な教育環境の整備の推進**

生徒の希望する進路の実現、自己実現ができる高校を目指し、本県の高校教育のより一層の充実を図っていきます。

学校行事、部活動等に  
活発に取り組める学校

生徒自らの進路希望に  
応じた学習のできる学校

生徒、教師との幅広い出会いや  
集団活動を通じ、切磋琢磨できる学校

このような方向性の中で、特に**適切な教育環境の整備の推進**を図るため、「新たな県立高等学校再編計画」を平成28年3月29日に策定いたしました。

## 再編計画の4つの視点

### 1 生徒や保護者の期待に応える魅力ある学校づくりの推進

地域との連携をより一層推進することで、地域への理解を深め、前計画で導入した新しいタイプの学校も含め学校の魅力を高めるとともに、人口減少社会における今後の岩手の復興、発展を支え、ふるさとを守る人材の育成を進めます。また、各市町村の地方創生の取組を踏まえつつ、地域との連携を図ります。

### 2 生徒数が減少する中での望ましい学校規模の確保と適切な配置

生徒数が減少する中においても、高等学校としての教育の質を維持、向上させていくことが可能となるよう、地域の実情や県全体のバランス等に考慮しながら、望ましい学校規模(原則1学年4～6学級程度)の確保と適切な配置に努めます。

### 3 広大な県土等の地理的条件を考慮した教育の機会の保障

望ましい学校規模を実現する一方、教育の機会の保障の観点も重要であり、広大な県土という地理的条件、公共交通機関の状況等によって、近隣高校への通学が極端に困難な地域に存在する高校については、1学級であっても一定の規模まで存続させることとします。

### 4 復興教育の充実

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた本県において取り組んでいるいわての「復興教育」プログラムに基づき、防災教育も含めた復興教育のさらなる充実を図ります。

## 県立高等学校配置の考え方

生徒数の減少等を見通しながら、高校教育の質の維持、向上に向け、県全体のバランスを考慮し、望ましい学校規模の確保と適切な配置に努めます。なお、配置にあたっては、教育の機会の保障の観点にも充分配慮します。

### 1 学校規模の基準

生徒の多様な学習ニーズに応え、集団生活による社会性を育成する観点から、望ましい学校規模は「原則1学年4～6学級程度」とします。ただし、生徒数が一層減少する状況にも考慮し、学校の最低規模は1学年2学級とします。

### 2 周辺の高校への通学が極端に困難である学校の取扱い

近隣の高校までの距離が遠く、仮に統合した場合、公共交通機関での通学が極端に困難となることが見込まれる地域の高校については、地域の学びの機会を保障するため、学校の最低規模の特例として1学級でも存続させます。

特例校：葛巻、西和賀、岩泉

### 3 極端に生徒が減少した場合の統合の基準

特例となる1学級校であっても、極端に生徒数が減少した場合には、教育の質の維持が著しく困難となるため、入学者数が2年連続で20人以下となった場合には、原則として、翌年度から募集停止とし、統合を進めます。

また、現在の1学級校(大迫、花泉、住田、宮古北)にもこの統合基準を適用します。

### 4 統合に伴う校舎制の導入

一方、高校間の移動が容易で、かつ、大幅な定員割れが生じている場合には、既存施設の有効活用も念頭に、複数の校舎を使用し、1つの学校として機能させる校舎制も視野に入れて統合を進めます。

# 【前期再編プログラム総括表】

計画期間(H28～H32 5年間)

タイプ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
専門高校					
総合的な 専門高校					宮古商業 宮古工業
普通科 専門学科 併置高校					遠野 遠野緑峰
総合学科 専門学科 併置高校					久慈東 久慈工業
普通高校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し (学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平舘 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討します。
- (2) 1学年1学級の普通高校では、直近の入学者数が2年連続して20人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合します。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

## 【前期再編プログラムの統合の概要】

対象校（設置学科及び学級数）	統合時期	統合の概要（考え方）
遠野（普通4） 遠野緑峰（農業1、商業1）	平成32年度	【設置学科 普通4・農業1】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、遠野緑峰高等学校は今後2学級規模の維持が困難となることが予想されます。 このため、遠野高等学校と統合することで、望ましい学校規模を確保し、生徒の多様な進路希望に対応できるよう、教育内容のより一層の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。
宮古商業（商業4） 宮古工業（工業3）	平成32年度	【設置学科 商業3・工業2】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、専門高校である宮古商業高等学校、宮古工業高等学校を統合することで、商業、工業のそれぞれの良さを生かしながら、職業教育の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。
久慈東（総合5） 久慈工業（工業2）	平成32年度	【設置学科 総合5・工業1】 ブロック内の生徒数の減少が続く中、久慈工業高等学校は今後2学級規模の維持が困難となることが予想されます。 このため、久慈東高等学校と統合することで、望ましい学校規模を確保するとともに、総合的な産業教育の充実等も含めた職業教育の充実を図ります。 統合形態については、校舎制の導入も検討します。

※ 統合形態・校名等は、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期を予定どおりとするか検討後、統合等検討委員会(仮称)を設置し、具体的に議論します。

### 統合を行う場合の対応

- 統合を行うことで、公共交通機関による統合先の高校等への通学の費用が大幅に増加する場合や、公共交通機関による統合先高校への通学が困難な場合等には、**地域の状況も踏まえた通学支援策を実施**します。
- 校舎制を導入する場合、生徒の校舎間の移動のためバスを運行する等、学校運営の円滑な実施に向けた環境整備を行います。

### 再編計画の推進に向けた今後の取組

#### ○ 地域との連携

地域との連携について、県教委では、各地域において連携を進めようとする意向、考え方を確認しながら、地域の皆様と学校等が検討する場を設置することを考えています。

この検討にあたっては、地域にとって高校の位置づけを明確にしなが、地域と高校それぞれにプラスになり、高校の魅力向上に繋がる取組を具体化していくことを考えています。

#### ○ 統合予定校

統合予定校では、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行うこととしておりますが、それまでの間、魅力ある学校づくりに向けた取組や今後の高校のあり方について(統合形態等も含め)、あらかじめ市町村と打合せのうえ、高校、市町村、PTA等と意見交換を行っていきます。

#### ○ 学科等の改編

学科等の改編については、再編計画どおり行われることを前提に高校での検討を開始し、地域の意見を伺いながら、概ね1年前を基本として、その改編や教育課程の概要を中学生、保護者にお知らせできるようにしたいと考えています。

# ブロック別の再編計画

—平成28年度から平成32年度までの5か年計画—

学科改編、学級減等は原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討します。

なお、入学者で40人以上の欠員が生じた場合は、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則に基づき、学級減を検討する場合があります。

## 盛岡ブロック

中学校卒業予定者数 H28 4,483人 → H32 4,191人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
盛岡第一	普通 7(280) 理数		普通 7(280) 理数
盛岡第二	普通 5(200)		普通 5(200)
盛岡第三	普通 7(280)	1学級減(H32)	普通 6(240)
盛岡第四	普通 7(280)	1学級減(H31)	普通 6(240)
盛岡北	普通 6(240)	1学級減(H32)	普通 5(200)
盛岡南	普通 5(200) 体育 1(40)		普通 5(200) 体育 1(40)
不来方	普通 7(280)	1学級減(H32) 学系見直し	普通 6(240)
盛岡農業	農業 5(200)		農業 5(200)
盛岡工業	工業 7(280)	1学級減(H32) 学科改編	工業 6(240)
盛岡商業	商業 6(240)		商業 6(240)
沼宮内	普通 2(80)		普通 2(80)
葛巻 (特例校)	普通 2(80)	1学級減(H30)	普通 1(40)
平舘	普通 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	普通 1(40) 家庭 1(40)
雫石	普通 2(80)		普通 2(80)
紫波総合	総合 5(200)	1学級減(H32) 系列見直し	総合 4(160)
全日制15校	77学級 (3,080人)		69学級 (2,760人)
盛岡工業 定時制	工業 1(40)	統合等を視野に検 討(H31)	

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が3,936人であり、平成37年度の募集学級数は約62学級と見込まれます。盛岡市内の高校の小規模化を避けるため、統合等の検討も想定しています。

## 岩手中部ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,953人→ H32 1,773人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
花巻北	普通 6(240)		普通 6(240)
花巻南	普通 5(200)	1学級減(H31) 学系見直し	普通 4(160)
花巻農業	農業 3(120)		農業 3(120)
花北青雲	工業 1(40) 商業 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H32) 学科改編	工業 1(40) 商業 1(40) 家庭 1(40)
大迫	普通 1(40)		普通 1(40)
黒沢尻北	普通 6(240)		普通 6(240)
北上翔南	総合 6(240)	1学級減(H32) 系列見直し	総合 5(200)
黒沢尻工業	工業 6(240)		工業 6(240)
西和賀 (特例校)	普通 2(80)	1学級減(H30) コース見直し	普通 1(40)
全日制 9校	39学級(1,560人)		35学級(1,400人)

### 〈後期計画(H33～37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が1,593人であり、平成37年度の募集学級数は約31学級と見込まれます。専門高校の定員割れも予想されるため、地域の産業振興方向等も見据えた学科再編も想定しています。

## 胆江ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,313人→ H32 1,206人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
水沢	普通 6(240) 理数		普通 6(240) 理数
水沢農業	農業 3(120)	1学級減(H30) 学科改編	農業 2(80)
水沢工業	工業 4(160)	1学級減(H31) 学科改編	工業 3(120)
水沢商業	商業 3(120)		商業 3(120)
前沢	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
金ヶ崎	普通 3(120)		普通 3(120)
岩谷堂	総合 5(200)		総合 5(200)
全日制 7校	26学級(1,040人)		23学級(920人)

### 〈後期計画(H33～37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が1,031人であり、平成37年度の募集学級数は約20学級と見込まれます。普通高校、専門高校の定員割れも予想され、機能の維持が困難となった場合には、統合等を検討することも想定しています。



## 両磐ブロック

中学校卒業予定者数 H28 1,257人 → H32 1,059人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
一関第一	普通 6(240) 理数	1学級減(H32)	普通 5(200) 理数
一関第二	総合 6(240)	1学級減(H30) 系列見直し	総合 5(200)
一関工業	工業 4(160)	1学級減(H32) 学科改編	工業 3(120)
花泉	普通 1(40)		普通 1(40)
大東	普通 3(120) 商業 1(40)	1学級減(H31)	普通 2(80) 商業 1(40)
千厩	普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)		普通 3(120) 農業 1(40) 工業 1(40)
全日制 6校	26学級(1,040人)		22学級(880人)

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が955人であり、平成37年度の募集学級数は約20学級と見込まれます。専門高校の定員割れも予想され、機能の維持が困難となった場合には、近接する高校の統合等を検討することも想定しています。

## 気仙ブロック

中学校卒業予定者数 H28 562人 → H32 475人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
高田	普通 4(160) 水産 1(40)	1学級減(H32)	普通 3(120) 水産 1(40)
大船渡	普通 5(200)	1学級減(H30)	普通 4(160)
大船渡東	農業 1(40) 工業 2(80) 商業 1(40) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	農業 1(40) 工業 1(40) 商業 1(40) 家庭 1(40)
住田	普通 1(40)		普通 1(40)
全日制 4校	16学級(640人)		13学級(520人)

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が408人であり、平成37年度の募集学級数は約11学級と見込まれます。多くの学校で定員割れすることが予想され、専門学科を中心に、地域の産業振興方向等を見据えた学科再編等も想定しています。

## 釜石・遠野ブロック

中学校卒業予定者数 H28 651人 → H32 531人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
釜石	普通 5(200) 理数	1学級減(H32)	普通 4(160) 理数
釜石商工	工業 3(120) 商業 2(80)	2学級減(H30) 学科改編	工業 2(80) 商業 1(40)
遠野	普通 4(160)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	普通 4(160) 農業 1(40)
遠野緑峰	農業 1(40) 商業 1(40)		
大槌	普通 3(120)	1学級減(H29)	普通 2(80)
全日制 5校	19学級(760人)		14学級(560人)

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が488人であり、平成37年度の募集学級数は約12学級と見込まれます。多くの高校で定員割れすることも予想され、近接する高校では統合等を検討することも想定しています。

## 宮古ブロック

中学校卒業予定者数 H28 782人 → H32 592人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
山田	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
宮古	普通 6(240)	1学級減(H32)	普通 5(200)
宮古北	普通 1(40)		普通 1(40)
宮古工業	工業 3(120)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	工業 2(80) 商業 3(120)
宮古商業	商業 4(160)		
宮古水産	水産 2(80) 家庭 1(40)	1学級減(H31) 学科改編	水産 1(40) 家庭 1(40)
岩泉 (特例校)	普通 2(80)		普通 2(80)
全日制 7校	21学級(840人)		16学級(640人)
杜陵高校通 信制課程宮 古分室		宮古高校に通信制 課程を設置(H30) し一体化	宮古高校通信制課程

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が580人であり、平成37年度の募集学級数は約14学級と見込まれます。普通科高校、専門高校の定員割れも予想されるため、地域の産業振興方向等も見据えた総合的な産業高校の設置等、さらなる統合も想定しています。

## 久慈ブロック

中学校卒業予定者数 H28 598人 → H32 514人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
久慈	普通 5(200)	1学級減(H31)	普通 4(160)
久慈東	総合 5(200)	統合(校舎制)(H32) 学科改編	総合 5(200)
久慈工業	工業 2(80)		工業 1(40)
種市	普通 2(80) 工業 1(40)	1学級減(H30)	普通 1(40) 工業 1(40)
大野	普通 2(80)	1学級減(H31)	普通 1(40)
全日制 5校	17学級(680人)		13学級(520人)

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が445人であり、平成37年度の募集学級数は約11学級と見込まれます。多くの高校で定員割れが予想され、近接する高校では統合等の検討も想定しています。

## 二戸ブロック

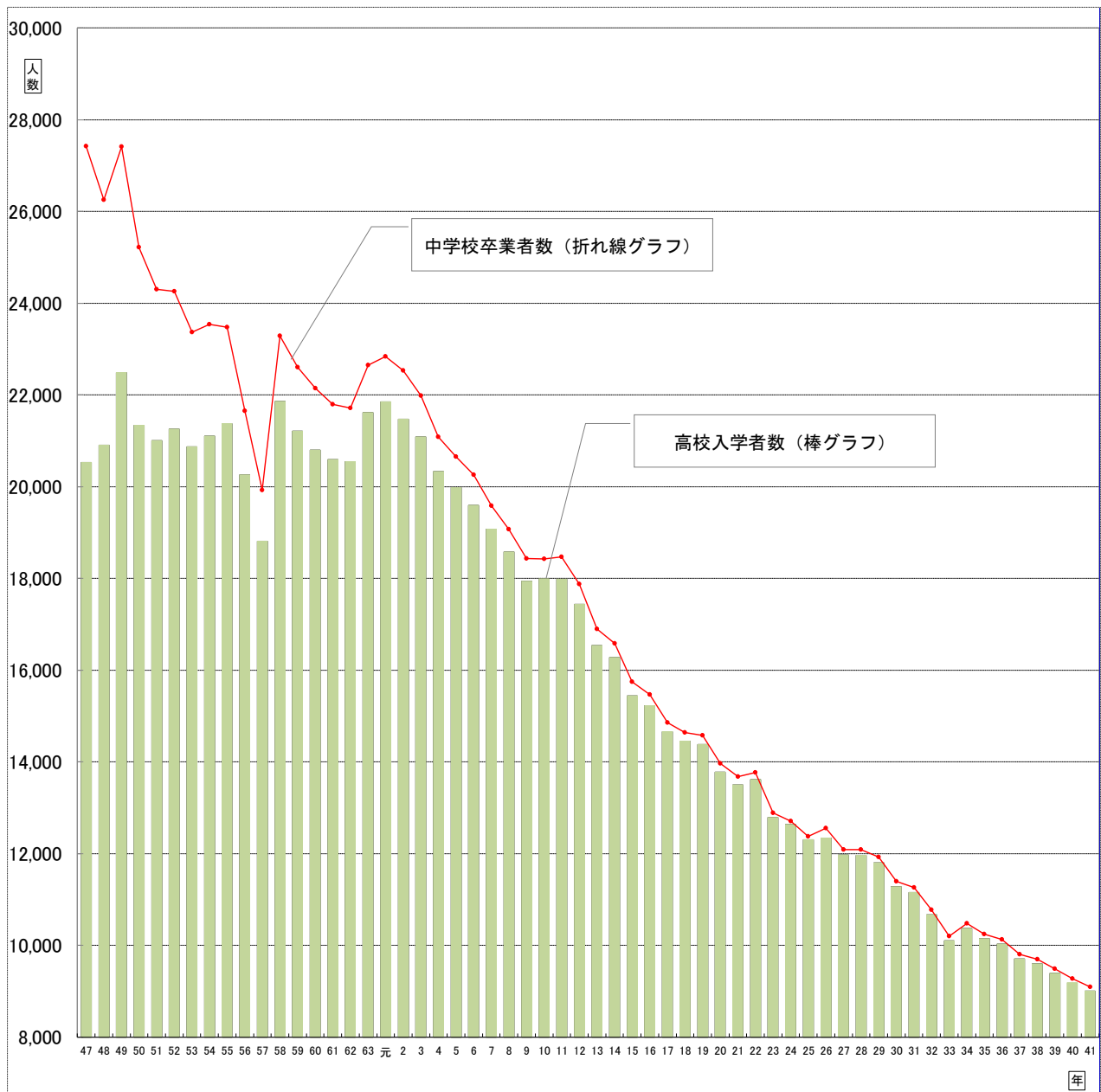
中学校卒業予定者数 H28 485人 → H32 434人

学校名	平成28年度の状況 学科・学級数(募集定員)	再編の方向	平成32年度の状況 学科・学級数(募集定員)
軽米	普通 2(80)		普通 2(80)
伊保内	普通 2(80)	1学級減(H29)	普通 1(40)
福岡	普通 5(200)	1学級減(H31)	普通 4(160)
福岡工業	工業 2(80)		工業 2(80)
一戸	総合 3(120)	1学級減(H32) 系列等見直し	総合 2(80)
全日制 5校	14学級(560人)		11学級(440人)

### 〈後期計画(H33~37)の方向性〉

平成37年3月末の中学校卒業予定者数が370人であり、平成37年度の募集学級数は約9学級と見込まれます。多くの高校で定員割れが予想され、近接する高校では統合等の検討も想定しています。

# 資料1 岩手県における中学校卒業生数及び高等学校入学者数の推移



各年ごとのデータ

年3月	昭和47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
中学校卒業生数	27,425	26,250	27,412	25,216	24,304	24,254	23,370	23,542	23,478	21,647	19,923	23,289	22,605	22,148	21,797
進学率	74.9%	79.6%	82.0%	84.6%	86.4%	87.6%	89.3%	89.6%	91.0%	93.6%	94.4%	93.9%	93.8%	93.9%	94.5%
高校入学者数	20,529	20,904	22,486	21,339	21,004	21,257	20,867	21,101	21,371	20,262	18,812	21,860	21,208	20,801	20,590
年3月	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
中学校卒業生数	21,715	22,648	22,833	22,531	21,985	21,085	20,657	20,256	19,583	19,074	18,435	18,425	18,468	17,874	16,899
進学率	94.6%	95.4%	95.7%	95.3%	95.9%	96.4%	96.7%	96.7%	97.4%	97.4%	97.3%	97.7%	97.4%	97.5%	97.9%
高校入学者数	20,543	21,617	21,847	21,475	21,084	20,329	19,983	19,595	19,068	18,574	17,941	17,993	17,987	17,432	16,541
年3月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
中学校卒業生数	16,585	15,748	15,468	14,857	14,640	14,576	13,964	13,678	13,767	12,885	12,708	12,379	12,556	12,088	12,084
進学率	98.2%	98.0%	98.4%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.9%	99.2%	99.4%	99.4%	99.4%	99.5%	99.0%
高校入学者数	16,279	15,440	15,223	14,661	14,449	14,383	13,776	13,500	13,620	12,788	12,634	12,306	12,366	12,025	11,963
年3月	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41		
中学校卒業生数	11,924	11,396	11,264	10,775	10,203	10,476	10,247	10,131	9,806	9,700	9,489	9,279	9,098		
進学率	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%		
高校入学者数	11,805	11,282	11,151	10,667	10,101	10,371	10,145	10,030	9,708	9,603	9,394	9,186	9,007		

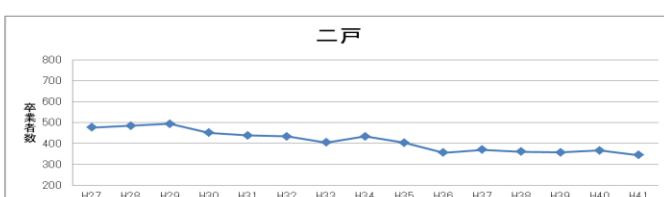
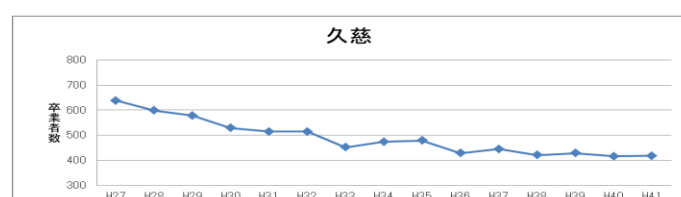
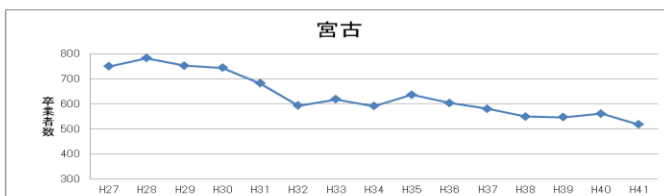
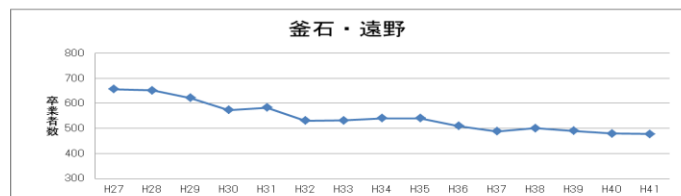
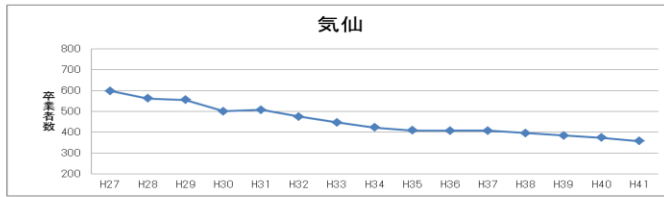
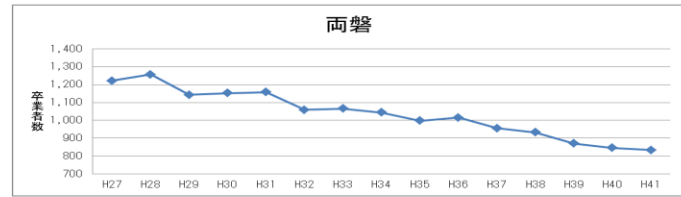
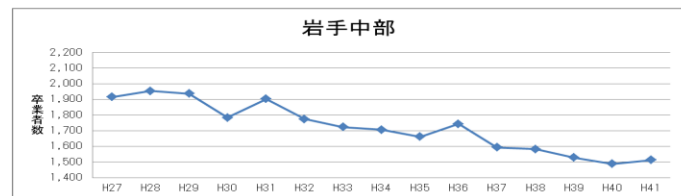
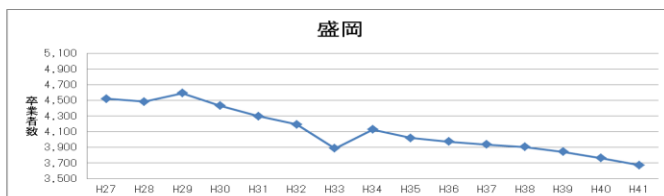
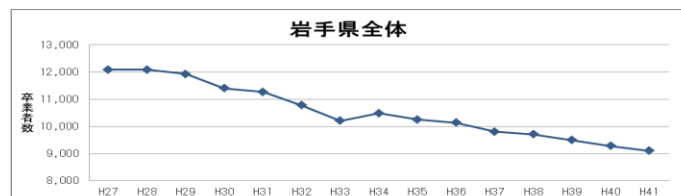
注) 中学校卒業生数及び高校入学者数

<中学校卒業生数>・昭和47年から平成27年までは実績値、平成28年以降は平成27年5月1日現在の在籍生徒数等からの推定値です。  
 <高校入学者数>・昭和47年から平成27年までは実績値、平成28年以降は進学率を99.0%に固定し、高校入学者数を計算したものです。  
 <進学率>・平成27年の進学率は、学校基本調査の速報値となります。

資料2 ブロックごとの中学校卒業生数の推移

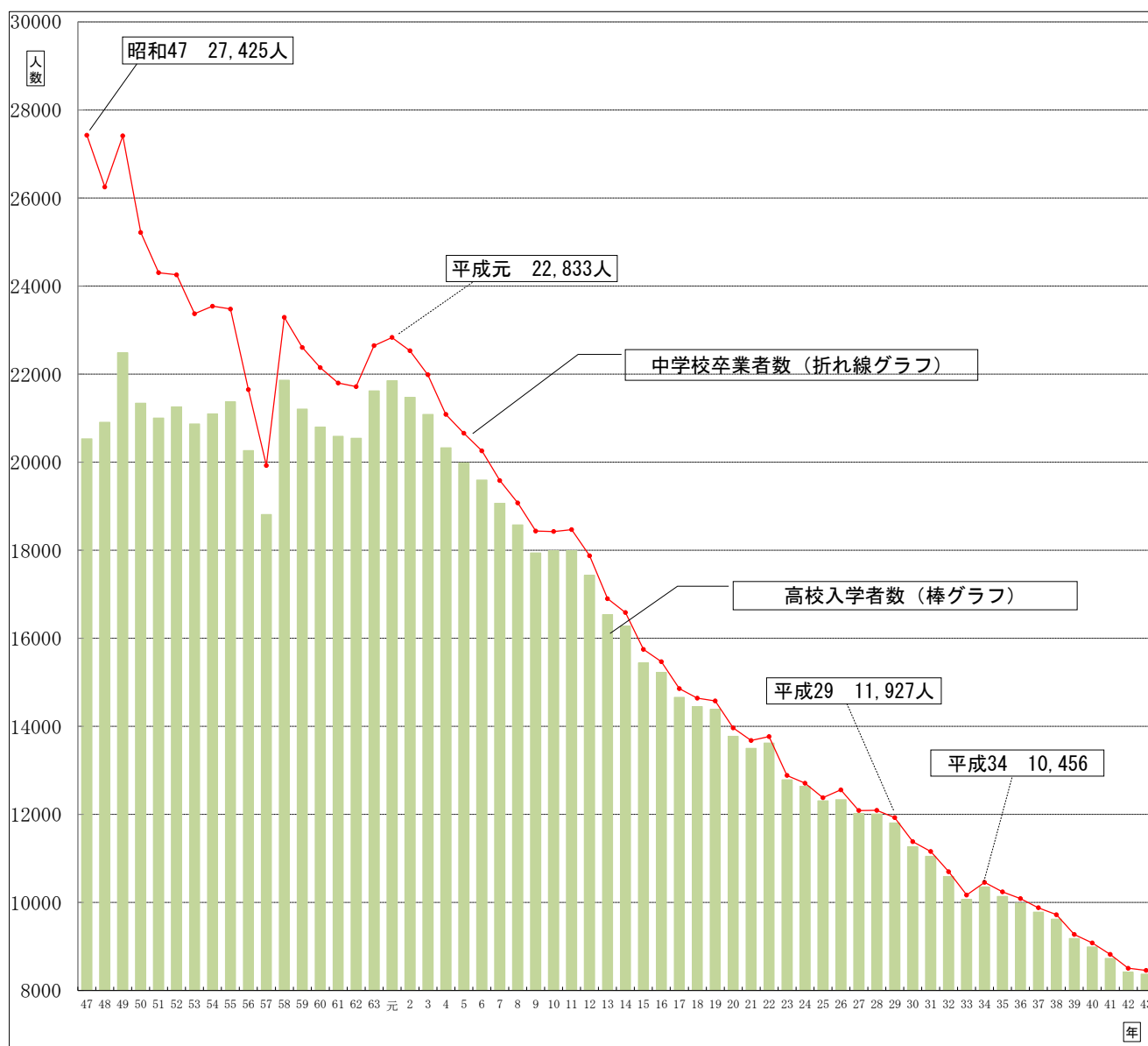
(各年3月末、平成28年以降は推計値)

	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月	41年3月
盛岡	4,520	4,483 -37 -37	4,591 108 71	4,431 -160 -89	4,296 -135 -224	4,191 -105 -329	3,884 -307 -636	4,128 244 -392	4,019 -109 -501	3,973 -46 -547	3,936 -37 -584	3,904 -32 -616	3,843 -61 -677	3,760 -83 -760	3,671 -89 -849
岩手中部	1,914	1,953 39 39	1,936 -17 22	1,783 -153 -131	1,902 119 -12	1,773 -129 -141	1,723 -50 -191	1,705 -18 -209	1,660 -45 -254	1,742 82 -172	1,593 -149 -321	1,581 -12 -333	1,527 -54 -387	1,487 -40 -427	1,512 25 -402
胆江	1,314	1,313 -1 -1	1,254 -59 -60	1,234 -20 -80	1,184 -50 -130	1,206 22 -108	1,077 -129 -237	1,137 60 -177	1,103 -34 -211	1,097 -6 -217	1,031 -66 -283	1,056 25 -258	1,044 -12 -270	990 -54 -324	969 -21 -345
両磐	1,222	1,257 35 35	1,143 -114 -79	1,152 9 -70	1,158 6 -64	1,059 -99 -163	1,066 7 -156	1,044 -22 -178	998 -46 -224	1,015 17 -207	955 -60 -267	932 -23 -290	870 -62 -352	846 -24 -376	833 -13 -389
気仙	598	562 -36 -36	555 -7 -43	500 -55 -98	508 8 -90	475 -33 -123	447 -28 -151	423 -24 -175	409 -14 -189	408 -1 -190	408 0 -190	396 -12 -202	384 -12 -214	374 -10 -224	358 -16 -240
釜石・遠野	656	651 -5 -5	621 -30 -35	573 -48 -83	583 10 -73	531 -52 -125	532 1 -124	540 8 -116	540 0 -116	509 -31 -147	488 -21 -168	501 13 -155	490 -11 -166	479 -11 -177	477 -2 -179
宮古	749	782 33 33	752 -30 3	743 -9 -6	681 -62 -68	592 -89 -157	618 26 -131	591 -27 -158	636 45 -113	603 -33 -146	580 -23 -169	549 -31 -200	546 -3 -203	561 15 -188	517 -44 -232
久慈	638	598 -40 -40	578 -20 -60	529 -49 -109	514 -15 -124	514 0 -124	451 -63 -187	474 23 -164	478 4 -160	428 -50 -210	445 17 -193	420 -25 -218	428 8 -210	416 -12 -222	417 1 -221
二戸	477	485 8 8	494 9 17	451 -43 -26	438 -13 -39	434 -4 -43	405 -29 -72	434 29 -43	404 -30 -73	356 -48 -121	370 14 -107	361 -9 -116	357 -4 -120	366 9 -111	344 -22 -133
全県 対前年比	12,088	12,084 -4 -4	11,924 -160 -164	11,396 -528 -692	11,264 -132 -824	10,775 -489 -1,313	10,203 -572 -1,885	10,476 273 -1,612	10,247 -229 -1,841	10,131 -116 -1,957	9,806 -325 -2,282	9,700 -106 -2,388	9,489 -211 -2,599	9,279 -210 -2,809	9,098 -181 -2,990



※ グラフの卒業生数(縦軸)の数値は、地区によって異なります。

## 岩手県における中学校卒業者数及び高校入学者数の推移



各年ごとのデータ

年3月	昭和47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
中学校卒業者数	27,425	26,250	27,412	25,216	24,304	24,254	23,370	23,542	23,478	21,647	19,923	23,289	22,605	22,148	21,797
進学率	74.9%	79.6%	82.0%	84.6%	86.4%	87.6%	89.3%	89.6%	91.0%	93.6%	94.4%	93.9%	93.8%	93.9%	94.5%
高校入学者数	20,529	20,904	22,486	21,339	21,004	21,257	20,867	21,101	21,371	20,262	18,812	21,860	21,208	20,801	20,590
年3月	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
中学校卒業者数	21,715	22,648	22,833	22,531	21,985	21,085	20,657	20,256	19,583	19,074	18,435	18,425	18,468	17,874	16,899
進学率	94.6%	95.4%	95.7%	95.3%	95.9%	96.4%	96.7%	96.7%	97.4%	97.4%	97.3%	97.7%	97.4%	97.5%	97.9%
高校入学者数	20,543	21,617	21,847	21,475	21,084	20,329	19,983	19,595	19,068	18,574	17,941	17,993	17,987	17,432	16,541
年3月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
中学校卒業者数	16,585	15,748	15,468	14,857	14,640	14,576	13,964	13,678	13,767	12,885	12,708	12,379	12,556	12,088	12,092
進学率	98.2%	98.0%	98.4%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.9%	99.3%	99.4%	99.4%	99.4%	99.5%	99.3%
高校入学者数	16,279	15,440	15,223	14,661	14,449	14,383	13,776	13,500	13,620	12,788	12,634	12,306	12,366	12,025	12,010
年3月	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
中学校卒業者数	11,927	11,380	11,157	10,698	10,167	10,456	10,241	10,087	9,879	9,721	9,273	9,080	8,820	8,504	8,456
進学率	99.4%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
高校入学者数	11,859	11,266	11,045	10,591	10,065	10,351	10,139	9,986	9,780	9,624	9,180	8,989	8,732	8,419	8,371

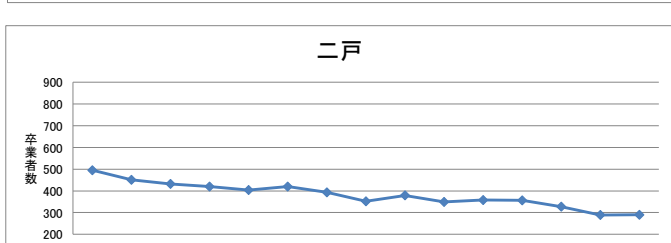
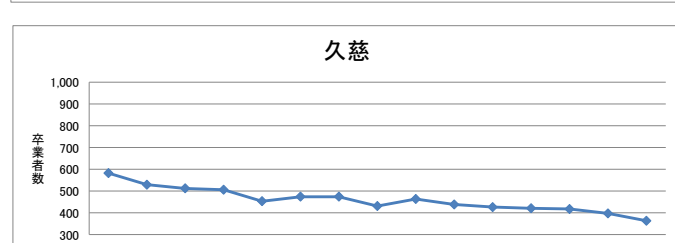
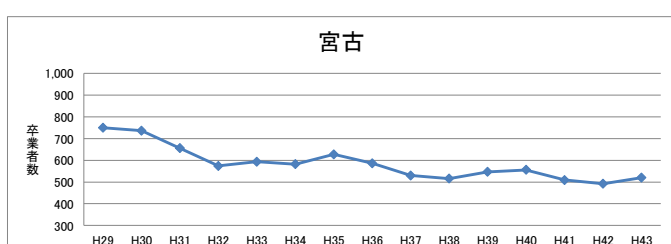
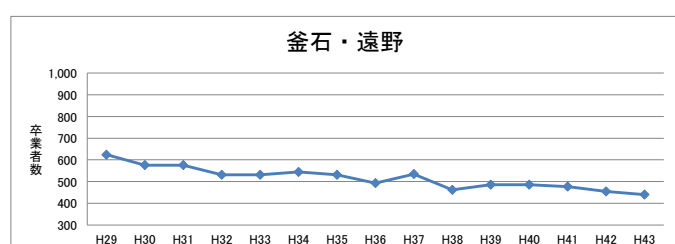
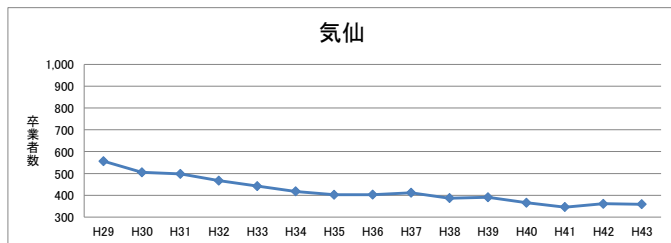
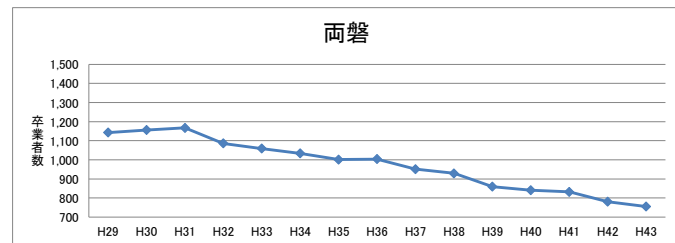
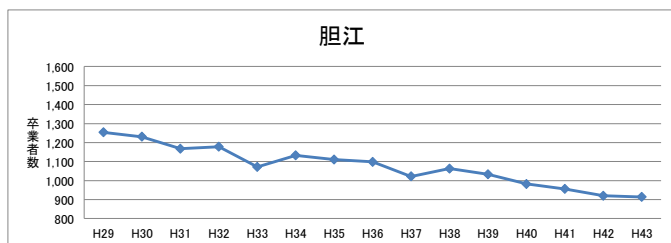
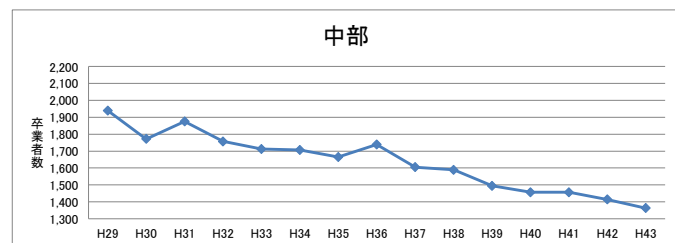
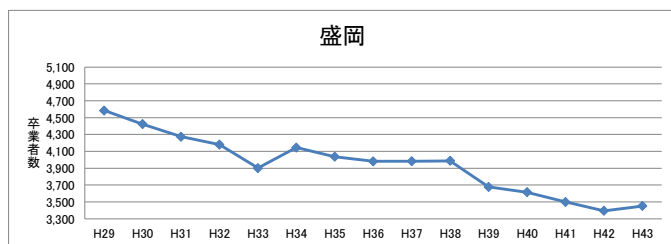
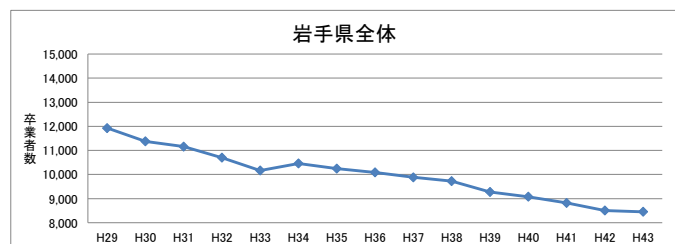
注) 中学校卒業者数及び高校入学者数

〈中学校卒業者数〉・昭和47年から平成29年までは実績値、平成30年以降は平成29年5月1日現在の在籍生徒数等からの推定値です。  
 〈高校入学者数〉・昭和47年から平成29年までは実績値、平成30年以降は進学率を99.0%に固定し、高校入学者数を計算したものです。

# ブロック別中学校卒業予定者数の推移

(各年3月末、平成30年以降は推計値)

ブロック	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月	41年3月	42年3月	43年3月
盛岡	4,584	4,424 -161 -161	4,273 -151 -312	4,179 -94 -406	3,901 -278 -684	4,144 243 -441	4,037 -107 -548	3,981 -56 -604	3,982 1 -603	3,988 6 -597	3,678 -310 -907	3,616 -62 -969	3,500 -116 -1,085	3,395 -105 -1,190	3,452 57 -1,133
岩手中部	1,939	1,772 -167 -167	1,875 103 -64	1,757 -118 -182	1,712 -45 -227	1,707 -5 -232	1,665 -42 -274	1,739 74 -200	1,605 -134 -334	1,589 -16 -350	1,494 -95 -445	1,456 -38 -483	1,456 0 -483	1,410 -42 -525	1,363 -51 -576
胆江	1,254	1,231 -22 -22	1,168 -63 -85	1,178 10 -75	1,072 -106 -181	1,133 61 -120	1,111 -22 -142	1,098 -13 -155	1,022 -76 -231	1,063 41 -190	1,033 -30 -220	982 -51 -271	956 -26 -297	920 -36 -333	914 -6 -339
両磐	1,143	1,156 13 13	1,167 11 24	1,086 -81 -57	1,059 -27 -84	1,034 -25 -109	1,001 -33 -142	1,004 3 -139	951 -53 -192	929 -22 -214	860 -69 -283	841 -19 -302	832 -9 -311	781 -51 -362	755 -26 -388
気仙	556	505 -51 -51	498 -7 -58	467 -31 -89	442 -25 -114	418 -24 -138	402 -16 -154	403 1 -153	412 9 -144	387 -25 -169	391 4 -165	366 -25 -190	346 -20 -210	361 15 -195	359 -2 -197
釜石 遠野	624	576 -48 -48	576 0 -48	531 -45 -93	531 0 -93	544 13 -80	531 -13 -93	493 -38 -131	535 42 -89	462 -73 -162	486 24 -138	486 0 -138	477 -9 -147	455 -22 -169	440 -15 -184
宮古	750	736 -14 -14	656 -80 -94	574 -82 -176	593 19 -157	582 -11 -168	627 45 -123	586 -41 -164	530 -56 -220	516 -14 -234	547 31 -203	556 9 -194	509 -47 -241	492 -17 -258	520 28 -230
久慈	582	529 -53 -53	512 -17 -70	506 -6 -76	453 -53 -129	474 21 -108	474 0 -108	431 -43 -151	463 32 -119	438 -25 -144	426 -12 -156	421 -5 -161	417 -4 -165	397 -20 -185	363 -34 -219
二戸	495	451 -44 -44	432 -19 -63	420 -12 -75	404 -16 -91	420 16 -75	393 -27 -102	352 -41 -143	379 27 -116	349 -30 -146	358 9 -137	356 -2 -139	327 -29 -168	289 -38 -206	290 1 -205
全県 対前年比 <small>H29を基準とした増減</small>	11,927	11,380 -547	11,157 -223 -770	10,698 -459 -1,229	10,167 -531 -1,760	10,456 289 -1,471	10,241 -215 -1,686	10,087 -154 -1,840	9,879 -208 -2,048	9,721 -158 -2,206	9,273 -448 -2,654	9,080 -193 -2,847	8,820 -260 -3,107	8,504 -316 -3,423	8,456 -48 -3,471



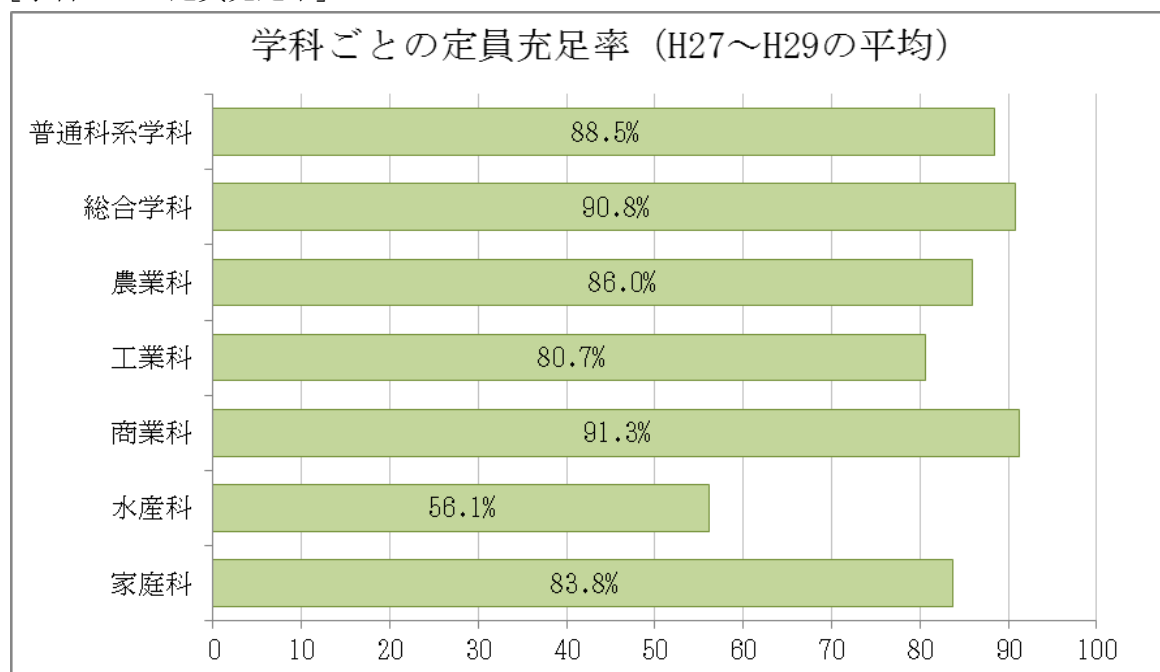
※ グラフの卒業者数（縦軸）の数値は、地区によって異なります。

## 岩手県立高等学校入学者選抜の概況

## [全日制課程]

	H27	H28	H29
募集定員	10,200	10,200	10,120
総受検者数	9,722	9,952	9,660
最終合格者数	9,013	8,989	8,673
充足率(%)	88.4	88.1	85.7

## [学科ごとの定員充足率]



※ 普通科系学科は、普通科、理数科、体育科になります。

## [定時制課程]

	H27	H28	H29
募集定員	560	560	560
総受検者数	117	125	116
最終合格者数	112	117	104
充足率(%)	20.0	20.9	18.6



平成27年度岩手県立高等学校募集定員・合格者数等一覧表

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡第一	普通	普通・理数	280	284	▲ 4	355
盛岡第二	普通	普通	200	204	▲ 4	265
盛岡第三	普通	普通	280	284	▲ 4	354
盛岡第四	普通	普通	280	280	0	357
盛岡北	普通	普通	240	243	▲ 3	251
盛岡南	普通	普通	160	160	0	182
	普通	体育コース	40	39	▲ 1	44
	体育	体育	40	41	▲ 1	46
不来方	普通	人文・理数	160	156	▲ 4	160
	普通	芸術	40	35	▲ 5	36
	普通	外国語	40	40	0	43
	普通	体育	40	41	▲ 1	49
盛岡農業	普通	植物科学	40	38	▲ 2	29
	農業	動物科学	40	38	▲ 2	36
	農業	食品科学	40	42	▲ 2	60
	農業	人間科学	40	42	▲ 2	44
	農業	環境科学	40	40	0	40
盛岡工業	工業	機械	40	40	0	49
	工業	電気	40	41	▲ 1	49
	工業	電子情報	40	40	0	45
	工業	電子機械	40	40	0	43
	工業	工業化学	40	41	▲ 1	35
	工業	土木	40	40	0	54
	工業	建築・デザイン	40	40	0	55
盛岡商業	商業	流通ビジネス	80	82	▲ 2	95
	商業	会計ビジネス	80	84	▲ 4	116
	商業	情報ビジネス	80	82	▲ 2	105
沼宮内	普通	普通	80	42	▲ 38	43
葛巻	普通	普通	80	48	▲ 32	48
平舘	普通	普通	80	74	▲ 6	74
	家庭	家政科学	40	27	▲ 13	27
雫石	普通	普通	80	49	▲ 31	51
紫波総合	総合	総合	200	171	▲ 29	175
花巻北	普通	普通	240	245	▲ 5	265
花巻南	普通	人文科学・自然科学	120	123	▲ 3	152
	普通	スポーツ健康科学	40	40	0	41
	普通	国際科学	40	39	▲ 1	20
花巻農業	農業	生物科学	40	41	▲ 1	47
	農業	環境科学	40	42	▲ 2	48
	農業	食農科学	40	41	▲ 1	42
花北青雲	工業	情報工学	40	35	▲ 5	31
	商業	ビジネス情報	80	84	▲ 4	94
	家庭	総合生活	40	42	▲ 2	45
大泊	普通	普通	40	32	▲ 8	33
黒沢尻北	普通	普通	240	240	0	277
北上翔南	総合	総合	240	241	▲ 1	251
黒沢尻工業	工業	機械	40	40	0	42
	工業	電気	40	28	▲ 12	28
	工業	電子	40	33	▲ 7	32
	工業	電子機械	40	31	▲ 9	31
	工業	土木	40	37	▲ 3	39
	工業	材料技術	40	22	▲ 18	20
西和賀	普通	普通	40	15	▲ 25	15
	普通	福祉・情報コース	40	10	▲ 30	11
水沢	普通	普通・理数	240	245	▲ 5	265
水沢農業	農業	農業科学	40	31	▲ 9	31
	農業	環境工学	40	15	▲ 25	15
	農業	生活科学	40	32	▲ 8	32
水沢工業	工業	機械	40	40	0	42
	工業	電気	40	33	▲ 7	33
	工業	設備システム	40	40	0	45
	工業	インテリア	40	39	▲ 1	36
水沢商業	商業	商業	40	37	▲ 3	37
	商業	会計ビジネス	40	40	0	40
	商業	情報システム	40	25	▲ 15	25
前沢	普通	普通	80	47	▲ 33	48
金ヶ崎	普通	普通	120	115	▲ 5	129
岩谷堂	総合	総合	200	200	0	205
一関第一	普通	普通・理数	240	232	▲ 8	233
一関第二	総合	総合	240	242	▲ 2	293
一関工業	工業	電気	40	37	▲ 3	39
	工業	電子	40	32	▲ 8	30
	工業	電子機械	40	40	0	44
	工業	土木	40	30	▲ 10	32
花泉	普通	普通	40	37	▲ 3	37
大東	普通	普通	120	93	▲ 27	93
	商業	情報ビジネス	40	34	▲ 6	35
千厩	普通	普通	120	109	▲ 11	109
	農業	生産技術	40	35	▲ 5	36
	工業	産業技術	40	32	▲ 8	32

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
高田	普通	普通	160	149	▲ 11	149
	水産	海洋システム	40	15	▲ 25	15
大船渡	普通	普通	200	200	0	200
大船渡東	農業	農芸科学	40	20	▲ 20	21
	工業	機械	40	41	▲ 1	41
	工業	電気電子	40	23	▲ 17	23
	商業	情報処理	40	23	▲ 17	23
	家庭	食物文化	40	39	▲ 1	39
住田	普通	普通	40	40	0	41
釜石	普通	普通・理数	200	173	▲ 27	174
釜石商工	工業	機械・電子機械	80	47	▲ 33	51
	工業	電気電子	40	9	▲ 31	10
	商業	総合情報	80	44	▲ 36	46
遠野	普通	普通	160	142	▲ 18	142
遠野緑峰	農業	生産技術	40	40	0	40
	商業	情報処理	40	18	▲ 22	18
大槌	普通	普通	120	81	▲ 39	83
山田	普通	普通	80	50	▲ 30	50
宮古	普通	普通	240	220	▲ 20	221
宮古北	普通	普通	40	18	▲ 22	18
宮古工業	工業	機械	40	35	▲ 5	35
	工業	電気電子	40	12	▲ 28	12
	工業	建築設備	40	20	▲ 20	20
宮古商業	商業	商業	40	40	0	45
	商業	会計	40	36	▲ 4	30
	商業	流通経済	40	40	0	39
	商業	情報	40	40	0	45
宮古水産	水産	海洋技術	40	24	▲ 16	24
	水産	食品家政	40	24	▲ 16	24
	家庭	食物	40	27	▲ 13	27
岩泉	普通	普通	80	59	▲ 21	59
久慈	普通	普通	200	182	▲ 18	195
久慈東	総合	総合	200	195	▲ 5	196
久慈工業	工業	電子機械	40	16	▲ 24	16
	工業	建設環境	40	34	▲ 6	35
種市	普通	普通	80	52	▲ 28	53
	工業	海洋開発	40	31	▲ 9	33
大野	普通	普通	80	57	▲ 23	57
軽米	普通	普通	80	58	▲ 22	58
伊保内	普通	普通	80	37	▲ 43	37
福岡	普通	普通	200	171	▲ 29	171
福岡工業	工業	機械システム	40	36	▲ 4	36
	工業	電気情報システム	40	25	▲ 15	25
一戸	総合	総合	120	69	▲ 51	70

10,200 9,013 ▲ 1,187 9,722

< 定時制 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	1・2部	120	36	▲ 84	39
	普通	3部	40	3	▲ 37	3
杜陵奥州	普通	昼間部	40	22	▲ 18	23
	普通	夜間部	40	2	▲ 38	2
盛岡工業	工業	工業	40	6	▲ 34	5
一関第一	普通	普通	40	1	▲ 39	1
大船渡	普通	普通	40	5	▲ 35	5
釜石	普通	普通	40	12	▲ 28	12
宮古	普通	普通	40	6	▲ 34	6
久慈長内	普通	昼間部	40	14	▲ 26	17
	普通	夜間部	40	3	▲ 37	2
福岡	普通	普通	40	2	▲ 38	2
			560	112	▲ 448	117

< 通信制 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	普通	300	19	▲ 281	24
			300	19	▲ 281	24

※参考< 市立 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡市立	普通	特別進学コース	35	37	▲ 2	41
	普通	普通	160	164	▲ 4	207
	商業	商業	80	84	▲ 4	130
			275	285	▲ 10	378

平成28年度岩手県立高等学校募集定員・合格者数等一覧表

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡第一	普通	普通・理数	280	282	2	370
盛岡第二	普通	普通	200	200	0	207
盛岡第三	普通	普通	280	285	5	425
盛岡第四	普通	普通	280	283	3	349
盛岡北	普通	普通	240	243	3	345
盛岡南	普通	普通	160	164	4	206
	普通	体育コース	40	42	2	58
	体育	体育	40	42	2	54
不来方	普通	人文・理数	160	163	3	226
	普通	芸術	40	40	0	50
	普通	外国語	40	41	1	56
	普通	体育	40	40	0	63
盛岡農業	農業	植物科学	40	40	0	38
	農業	動物科学	40	42	2	51
	農業	食品科学	40	42	2	57
	農業	人間科学	40	42	2	48
	農業	環境科学	40	40	0	36
盛岡工業	工業	機械	40	40	0	45
	工業	電気	40	40	0	42
	工業	電子情報	40	40	0	48
	工業	電子機械	40	38	▲2	38
	工業	工業化学	40	38	▲2	30
	工業	土木	40	40	0	46
	工業	建築・デザイン	40	40	0	53
盛岡商業	商業	流通ビジネス	80	80	0	141
	商業	会計ビジネス	80	80	0	101
	商業	情報ビジネス	80	81	1	93
沼宮内	普通	普通	80	29	▲51	29
葛巻	普通	普通	80	41	▲39	41
平舘	普通	普通	80	58	▲22	59
	家庭	家政科学	40	26	▲14	26
雫石	普通	普通	80	39	▲41	42
紫波総合	総合	総合	200	166	▲34	166
花巻北	普通	普通	240	235	▲5	239
花巻南	普通	人文科学・自然科学	120	123	3	142
	普通	スポーツ健康科学	40	42	2	57
	普通	国際科学	40	40	0	37
花巻農業	農業	生物科学	40	39	▲1	39
	農業	環境科学	40	31	▲9	33
	農業	食農科学	40	41	1	42
花北青雲	工業	情報工学	40	41	1	43
	商業	ビジネス情報	80	84	4	92
	家庭	総合生活	40	42	2	38
大泊	普通	普通	40	21	▲19	21
黒沢尻北	普通	普通	240	240	0	251
北上翔南	総合	総合	240	240	0	242
黒沢尻工業	工業	機械	40	40	0	52
	工業	電気	40	40	0	41
	工業	電子	40	38	▲2	35
	工業	電子機械	40	40	0	42
	工業	土木	40	40	0	46
	工業	材料技術	40	39	▲1	43
西和賀	普通	普通	40	32	▲8	35
	普通	福祉・情報コース	40	12	▲28	11
水沢	普通	普通・理数	240	244	4	255
水沢農業	農業	農業科学	40	30	▲10	30
	農業	環境工学	40	16	▲24	18
	農業	生活科学	40	22	▲18	22
水沢工業	工業	機械	40	40	0	42
	工業	電気	40	30	▲10	28
	工業	設備システム	40	26	▲14	29
	工業	インテリア	40	37	▲3	37
水沢商業	商業	商業	40	33	▲7	31
	商業	会計ビジネス	40	40	0	45
	商業	情報システム	40	42	2	48
前沢	普通	普通	80	42	▲38	44
金ヶ崎	普通	普通	120	97	▲23	101
岩谷堂	総合	総合	200	198	▲2	199
一関第一	普通	普通・理数	240	245	5	247
一関第二	総合	総合	240	240	0	276
一関工業	工業	電気	40	41	1	43
	工業	電子	40	40	0	41
	工業	電子機械	40	41	1	47
	工業	土木	40	40	0	51
花泉	普通	普通	40	41	1	47
大東	普通	普通	120	99	▲21	99
	商業	情報ビジネス	40	35	▲5	35
千厩	普通	普通	120	117	▲3	120
	農業	生産技術	40	38	▲2	38
	工業	産業技術	40	31	▲9	31

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
高田	普通	普通	160	164	4	167
	水産	海洋システム	40	15	▲25	18
大船渡	普通	普通	200	175	▲25	175
大船渡東	農業	農芸科学	40	14	▲26	15
	工業	機械	40	30	▲10	31
	工業	電気電子	40	15	▲25	15
	商業	情報処理	40	37	▲3	37
	家庭	食物文化	40	24	▲16	26
住田	普通	普通	40	33	▲7	34
釜石	普通	普通・理数	200	185	▲15	187
釜石商工	工業	機械・電子機械	80	57	▲23	57
	工業	電気電子	40	10	▲30	11
	商業	総合情報	80	71	▲9	71
遠野	普通	普通	160	130	▲30	130
遠野緑峰	農業	生産技術	40	35	▲5	35
	商業	情報処理	40	18	▲22	19
大槌	普通	普通	120	71	▲49	74
山田	普通	普通	80	34	▲46	35
宮古	普通	普通	240	208	▲32	208
宮古北	普通	普通	40	27	▲13	31
宮古工業	工業	機械	40	21	▲19	23
	工業	電気電子	40	18	▲22	18
	工業	建築設備	40	23	▲17	28
宮古商業	商業	商業	40	40	0	46
	商業	会計	40	34	▲6	31
	商業	流通経済	40	40	0	39
	商業	情報	40	40	0	38
宮古水産	水産	海洋技術	40	33	▲7	43
	水産	食品家政	40	34	▲6	38
	家庭	食物	40	40	0	43
岩泉	普通	普通	80	50	▲30	50
久慈	普通	普通	200	181	▲19	183
久慈東	総合	総合	200	192	▲8	192
久慈工業	工業	電子機械	40	9	▲31	9
	工業	建設環境	40	30	▲10	30
種市	普通	普通	80	46	▲34	46
	工業	海洋開発	40	34	▲6	34
大野	普通	普通	80	44	▲36	44
軽米	普通	普通	80	48	▲32	48
伊保内	普通	普通	80	28	▲52	28
福岡	普通	普通	200	194	▲6	196
福岡工業	工業	機械システム	40	38	▲2	38
	工業	電気情報システム	40	35	▲5	35
一戸	総合	総合	120	72	▲48	72

10,200 8,989 ▲1,211 9,952

<定時制>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	1・2部	120	38	▲82	41
	普通	3部	40	4	▲36	4
杜陵奥州	普通	昼間部	40	28	▲12	30
	普通	夜間部	40	1	▲39	1
盛岡工業	工業	工業	40	4	▲36	3
一関第一	普通	普通	40	4	▲36	4
大船渡	普通	普通	40	7	▲33	7
釜石	普通	普通	40	10	▲30	12
宮古	普通	普通	40	4	▲36	5
久慈長内	普通	昼間部	40	12	▲28	13
	普通	夜間部	40	1	▲39	1
福岡	普通	普通	40	4	▲36	4
			560	117	▲443	125

<通信制>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	普通	300	26	▲274	32
			300	26	▲274	32

※参考<市立>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡市立	普通	特別進学コース	35	35	0	38
	普通	普通	160	164	4	207
	商業	商業	80	84	4	99
			275	283	8	344

平成29年度岩手県立高等学校募集定員・合格者数等一覧表

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡第一	普通・理数	普通・理数	280	282	2	330
盛岡第二	普通	普通	200	203	3	217
盛岡第三	普通	普通	280	286	6	419
盛岡第四	普通	普通	280	287	7	365
盛岡北	普通	普通	240	241	1	294
盛岡南	普通	普通	160	164	4	221
	普通	体育コース	40	42	2	66
	普通	体育	40	42	2	60
不来方	普通	人文・理数	160	161	1	237
	普通	芸術	40	40	0	62
	普通	外国語	40	40	0	58
	普通	体育	40	40	0	53
盛岡農業	農業	動物科学	40	42	2	62
	農業	植物科学	40	40	0	43
	農業	食品科学	40	42	2	48
	農業	人間科学	40	40	0	37
	農業	環境科学	40	42	2	51
盛岡工業	工業	機械	40	40	0	54
	工業	電気	40	40	0	49
	工業	電子情報	40	40	0	53
	工業	電子機械	40	40	0	52
	工業	工業化学	40	40	0	43
	工業	土木	40	40	0	52
	工業	建築・デザイン	40	40	0	55
盛岡商業	商業	流通ビジネス	80	82	2	109
	商業	会計ビジネス	80	82	2	101
	商業	情報ビジネス	80	81	1	90
沼宮内	普通	普通	80	42	▲ 38	42
葛巻	普通	普通	80	51	▲ 29	51
平舘	普通	普通	80	54	▲ 26	54
	家庭	家政科学	40	17	▲ 23	17
雫石	普通	普通	80	25	▲ 55	25
紫波総合	総合	総合	200	177	▲ 23	184
花巻北	普通	普通	240	245	5	262
花巻南	普通	人文科学・自然科学	120	123	3	140
	普通	スポーツ健康科学	40	38	▲ 2	34
	普通	国際科学	40	40	0	31
花巻農業	農業	生物科学	40	40	0	41
	農業	環境科学	40	40	0	49
	農業	食農科学	40	41	1	45
花北青雲	工業	情報工学	40	42	2	55
	商業	ビジネス情報	80	84	4	107
	家庭	総合生活	40	41	1	57
大迫	普通	普通	40	22	▲ 18	22
黒沢尻北	普通	普通	240	241	1	290
北上翔南	総合	総合	240	212	▲ 28	212
黒沢尻工業	工業	機械	40	40	0	44
	工業	電気	40	40	0	46
	工業	電子	40	40	0	48
	工業	電子機械	40	40	0	39
	工業	土木	40	40	0	54
	工業	材料技術	40	38	▲ 2	40
西和賀	普通	普通	40	20	▲ 20	24
	普通	福祉・情報コース	40	9	▲ 31	8
水沢	普通・理数	普通・理数	240	238	▲ 2	239
水沢農業	農業	農業科学	40	28	▲ 12	30
	農業	環境工学	40	14	▲ 26	14
	農業	生活科学	40	17	▲ 23	17
水沢工業	工業	機械	40	35	▲ 5	35
	工業	電気	40	26	▲ 14	27
	工業	設備システム	40	35	▲ 5	36
	工業	インテリア	40	38	▲ 2	39
水沢商業	商業	商業	40	41	1	45
	商業	会計ビジネス	40	40	0	36
	商業	情報システム	40	40	0	40
前沢	普通	普通	80	41	▲ 39	42
金ヶ崎	普通	普通	120	91	▲ 29	92
岩	総合	総合	200	148	▲ 52	148
一関第一	普通・理数	普通・理数	240	242	2	269
一関第二	総合	総合	240	217	▲ 23	224
一関工業	工業	電気	40	27	▲ 13	28
	工業	電子	40	31	▲ 9	32
	工業	電子機械	40	33	▲ 7	36
	工業	土木	40	29	▲ 11	37
花泉	普通	普通	40	35	▲ 5	35
大東	普通	普通	120	78	▲ 42	78
	商業	情報ビジネス	40	27	▲ 13	28
千厩	普通	普通	120	101	▲ 19	101
	農業	生産技術	40	39	▲ 1	40
	工業	産業技術	40	33	▲ 7	33

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
高田	普通	普通	160	131	▲ 29	134
	水産	海洋システム	40	12	▲ 28	12
大船渡	普通	普通	200	200	0	200
大船渡東	農業	農芸科学	40	21	▲ 19	14
	工業	機械	40	16	▲ 24	17
	工業	電気電子	40	18	▲ 22	18
	商業	情報処理	40	26	▲ 14	24
	家庭	食物文化	40	40	0	48
住田	普通	普通	40	33	▲ 7	33
釜石	普通・理数	普通・理数	200	160	▲ 40	160
釜石商工	工業	機械・電子機械	80	51	▲ 29	52
	工業	電気電子	40	6	▲ 34	7
	商業	総合情報	80	62	▲ 18	62
遠野	普通	普通	160	140	▲ 20	141
遠野緑峰	農業	生産技術	40	32	▲ 8	32
	商業	情報処理	40	16	▲ 24	17
大槌	普通	普通	80	67	▲ 13	71
山田	普通	普通	80	27	▲ 53	30
宮古	普通	普通	240	205	▲ 35	206
宮古北	普通	普通	40	27	▲ 13	29
宮古工業	工業	機械	40	29	▲ 11	29
	工業	電気電子	40	17	▲ 23	17
	工業	建築設備	40	18	▲ 22	18
宮古商業	商業	商業	40	39	▲ 1	39
	商業	会計	40	28	▲ 12	26
	商業	流通経済	40	40	0	43
	商業	情報	40	39	▲ 1	40
宮古水産	水産	海洋技術	40	21	▲ 19	25
	水産	食品家政	40	24	▲ 16	24
	家庭	食物	40	38	▲ 2	38
岩泉	普通	普通	80	48	▲ 32	50
久慈	普通	普通	200	168	▲ 32	168
久慈東	総合	総合	200	196	▲ 4	196
久慈工業	工業	電子機械	40	19	▲ 21	19
	工業	建設環境	40	23	▲ 17	23
種市	普通	普通	80	32	▲ 48	32
	工業	海洋開発	40	32	▲ 8	34
大野	普通	普通	80	30	▲ 50	30
軽米	普通	普通	80	45	▲ 35	45
伊保内	普通	普通	40	31	▲ 9	33
福岡	普通	普通	200	184	▲ 16	184
福岡工業	工業	機械システム	40	29	▲ 11	29
	工業	電気情報システム	40	28	▲ 12	28
一戸	総合	総合	120	100	▲ 20	100

10,120 8,673 ▲ 1,447 9,660

<定時制>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	1・2部	120	40	▲ 80	45
	普通	3部	40	1	▲ 39	2
杜陵奥州	普通	昼間部	40	14	▲ 26	15
	普通	夜間部	40	3	▲ 37	3
盛岡工業	工業	工業	40	5	▲ 35	3
一関第一	普通	普通	40	6	▲ 34	6
大船渡	普通	普通	40	5	▲ 35	5
釜石	普通	普通	40	7	▲ 33	8
宮古	普通	普通	40	9	▲ 31	12
久慈長内	普通	昼間部	40	8	▲ 32	10
	普通	夜間部	40	2	▲ 38	2
福岡	普通	普通	40	4	▲ 36	5
			560	104	▲ 456	116

<通信制>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	普通	300	23	▲ 277	30
			300	23	▲ 277	30

※参考<市立>

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡市立	普通	特別進学コース	35	37	2	51
	普通	普通	160	164	4	273
	商業	商業	80	83	3	111
			275	284	9	435

## 県外から県内への志願の取扱いについて

### 1 推薦入学者選抜

推薦入学者選抜は、岩手県内の中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部からの志願に限っている。

ただし、東日本大震災津波の被災により、岩手県内から県外に転学した生徒が志願する場合は受検を認めている。

### 2 一般入学者選抜

県外からの志願については、次の場合が考えられる。

- (1) 東日本大震災津波の被災により、岩手県内から県外に転学した生徒が志願する場合
- (2) 「県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定」に基づく志願

青森県、秋田県、宮城県の指定した県境隣接地域に住所を有する者は、県境隣接地域に所在する指定した岩手県立高等学校に、通常の手続きにより出願できる。

- (3) 保護者の転勤による県内への一家転住等、特別な事由による出願

出願前に、志願先高等学校に「特別入学志願承認手続」を行い、志願事由等について審査を受け、志願承認された場合に出願できる。

- (4) 次の学校（学科）への出願

学校（学科）に対して明確な志望理由がある場合、上記(2)、(3)に関わらず出願できる。

学校	学科	理由
葛巻高校	普通科	葛巻町が取り組んでいる「くずまき山村留学」において、寄宿舎を整備する等、生徒の生活環境を保証している。
水沢農業高校	農業科学科	特色ある科目である「馬学」を開設している。
種市高校	海洋開発科	潜水と土木の基礎的知識と技術を学べる全国唯一の学科を設置している。

〈参考〉上記3校の県外から入学者の状況

学校	県外からの入学者の状況
葛巻高校	平成27年度から始まった山村留学を利用し、平成27年度に1人、平成28年度に2人、平成29年度に3人が県外から入学している。
水沢農業高校	県外からの入学について、平成25年度入試で1人が入学している。
種市高校	県境隣接地域の青森県からの入学を含め、平成27年度に7人、平成28年度に12人、平成29年度に13人が入学している。

## 他県における市町村と県立高等学校の連携事例

## [島根県立隠岐島前高等学校]

設置学科	普通科（2学級募集）
自治体の取組	<p>[隠岐島前高校魅力化プロジェクト]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力化コーディネーターの配置</li> <li>・ 学校地域連携型公設塾「隠岐国学習センター」の設置・運営</li> <li>・ 寄宿舍機能を有する交流センターの設置・運営</li> <li>・ 地域住民が「島親」（地域での学び(祭り、地域行事、農作業等)に誘う案内人）になり島留学生と地域をつなぐ仕組みづくり</li> <li>・ 内航船による通学費全額補助（島内生に対する支援）</li> <li>・ 里帰り交通費の半額補助、保護者来島費用の半額補助 等</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島の過疎化に伴う少子化により、平成 20 年度に全学年 1 学級となり、またその年の入学生が 28 人となったため、県の再編成基本計画における統廃合の対象となる恐れが生じた。</li> <li>・ 高校と地域が連携して、都市部との教育格差を克服し、島前地域の将来を担う人材を育成する魅力ある教育環境をつくることで、島内からの進学者の増加を図ると同時に、島外からも積極的に意欲ある生徒の募集を行った。</li> </ul>
県外志願者の出願の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学者選抜における県外からの受入人数制限は、原則として 4 名以内としているが、県外からの積極的な受け入れを行う 19 校については上限の 4 人を超えて受け入れることができる。</li> <li>・ 隠岐島前高校では、県外生の合格者定員は 24 人以内（入学定員の 30%）としている。</li> </ul>
県外入学生の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年 20 人超入学（平成 29 年度入学生 64 人中、県外からの入学生は 25 人※）</li> <li>・ 魅力化・特色化の取組による入学志願者の増加により、募集学級数は、平成 24 年度から 1 学級増の 2 学級となっている（平成 26 年度全学年 2 学級化）。</li> </ul>
その他	島根県では 19 の県立高校で、全国から意欲ある入学生を募集している。

※ 一家転住者の場合は、県外中学出身者であっても、県内生と同じ扱いで選抜する。

[福島県立只見高等学校]

設置学科	普通科（1 学年 2 学級募集）
自治体の取組	只見町では、山村教育留学制度により学区外、県外から只見高校に入学する生徒に対して町が身元引受人となり、町営寮への入寮、公営塾での学習支援、帰省補助費等の取組を行っている。
背景	他の中山間地域にある小規模にはない地域事情を有するため。
県外志願者の出願の取扱い	只見高校（他に川口高校、南会津高校）について、他の中山間地域の小規模校にはない地域事情を有することから、入学者選抜の出願に関して身元引受人を保護者に代わる者として弾力的に取扱うことを入学者選抜実施要綱に明記。（平成 14 年度から適用） [身元引受人による弾力的な取扱い] 当該高校へ通学できる範囲の町村（学区内）に保護者に代わり志願者を監督、保護する身元引受人が居住する場合においては、学区外からの出願を認める。
県外入学生の状況	平成 14 年度から学区外、県外からの受け入れを開始。関東圏を中心に県外からの入学生を受け入れている。（平成 28 年度は 16 人が在籍）
その他	只見高校と同じ地域事情にある川口高校、南会津高校を含め 3 校について、1 学級定員を 35 人としている。

[長野県白馬高等学校]

設置学科	普通科（1 学級募集）、国際観光科（1 学級募集）
自治体の取組	[白馬高校魅力化プロジェクト] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育寮「しろうま Pal House」、公営塾「しろうま學舎」（地域おこし協力隊員が講師として指導）の運営。</li> <li>・ 部活動、留学の支援。</li> <li>・ 産学官の連携事業</li> <li>・ 全国募集活動事業等の推進。</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒数の減少により再編統合を含む将来像を検討する状況が生じる中で、高校の所在する白馬村及び隣接する小谷村が、県外生受け入れのための寮整備や公営塾の運営など、同校の魅力づくりへの支援に取り組む意志を示した。これにより従前の普通科 2 学級募集から、平成 28 年度、普通科 1 学級、国際観光科 1 学級募集として再出発することとなった。</li> <li>・ 国際観光科は「国際観光地白馬にしかない学びの創造」を標榜し、外部指導者の活用による観光・語学・山岳に関わる特徴的な授業や、学校生活のすべてを英語で行う English Day の実施など特色ある学習活動を展開している。また、全国募集を行っている。</li> </ul>

[長野県白馬高等学校] (つづき)

県外志願者の出願の取扱い	入学者選抜における県外からの受検要項の志願資格に「長野県白馬高等学校国際観光科へ志願を強く希望する場合」と明記。
県外入学生の状況	平成 28 年度 13 人、平成 29 年度 18 人が県外から国際観光科へ入学した。県外で学校説明会を開催している。
その他	長野県では白馬高校の他に、飯山高校スポーツ科学科でも全国から生徒を受け入れている。飯山高校スポーツ科学科については、県が同校に設置した寮への入寮を志願資格としている。

[栃木県立日光明峰高等学校]

設置学科	普通科（1 学年 4 学級募集）
背景	平成 17 年度に日光高校と足尾高校が統合し開校。統合当初は 4 学級の募集定員を満たしていたが、最近は 2 学級規模の入学者にとどまっていたこと、また、アイスホッケーで活躍したい生徒の県外からの問い合わせが毎年、複数件あったこと等から、県外からの受け入れを検討した。
県外志願者の出願の取扱い	日光明峰高校（他に馬頭高校）について、全国からの出願を受け入れる高校として、入学者選抜実施細則に明記。日光明峰高校は、受け入れにあたり、アイスホッケー、スピードスケート競技での活躍を目指すものに限るとしている。（平成 28 年度から募集開始）
県外入学生の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度から全国募集を開始し、平成 28 年度は 5 人が県外から入学した。</li> <li>・ 県外から入学した生徒については、高校が下宿生の受入先を募り対応している。</li> </ul>
その他	馬頭高校（普通科・水産科）の所在する那珂川町は、馬頭高校へ通学する生徒に対して交通費や下宿費の補助等の支援を行っている。

## 通学区域（学区）について

### 【学区の定義】

学区(通学区域)とは、特定の高等学校への入学志願者の過度の集中を避け、高等学校教育の機会の均等を図り、生徒の就学、通学の適正を図るため、就学希望者が就学すべきその所管に属する高等学校を指定した区域である。

### 【法的根拠】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第50条により、各教育委員会が学区を指定していた。

平成14年1月、第50条が削除された。削除の理由は、規制緩和を一層推進する観点から、通学区域の設定を当該高等学校を所管する教育委員会の判断に委ねることとしたものである。

### [本県の通学区域（学区）に関する検討と変遷]

年度	経緯
昭和24年	「岩手県立高等学校学則」が定められる。 21学区
昭和30年	学区が新設される。 25学区
昭和32年	「岩手県立高等学校の通学区域に関する規則」が定められる。 20学区
平成6年	総合学科高校（岩谷堂高校）の導入に伴い、1学区消滅。 19学区
平成10年	県立高等学校長期構想検討委員会より、「受験競争の緩和と学校選択の自由という二つの要請を同時に考えるとき、学区を定めつつ、学区外入学を一定の割合で認めるという現行の制度は、今後においても有効であると考えますが、昭和32年改訂より40年あまりたっており、この間、交通の利便性の向上等社会状況も大きく変わっていること等から、今後、学区の取り扱い等について見直しの検討が必要である」旨の報告がなされた。
平成10年	「岩手県立高等学校入学者選抜の在り方に関する調査研究委員会」の設置。学区の見直しを検討。
平成12年 ～13年	「岩手県立高等学校入学者選抜方策検討委員会」の設置。学区の見直しを検討。学区は「広域化を進めることが妥当であり、その程度については、高等学校新整備計画の計画単位である9広域生活圏とする案を中心に審議したが、9学区にしても、現行の19学区と同じ範囲となる学区もあることから、慎重に判断する必要がある」とともに、「学区を9広域生活圏程度に広域化した場合、学区内許容率は、当面10%が妥当である」旨 報告。
平成16年	「岩手県立高等学校の通学区域に関する規則」を改正、9広域生活圏を基本とした8学区とし（学区の数19→8）、学区外許容率を10%とした（学区外許容率15%→10%）。
平成17年 ～18年	「県立高校入試改善検討委員会」を設置、学区について、「8学区がようやく落ち着いてきたところで、デメリットを感じさせない。当面は8学区のままとすることが望ましい。しかし、普通科のみに学区を設定しているのは問題があり、教育の機会均等のため全県一区にすべきである等の学区を廃止した方がいいとの意見もあった。」という提言をいただく。 8学区を継続
平成22年 ～23年	「県立高校入試改善検討委員会」を設置、「推薦入試の在り方」、「一般入試の在り方」、「その他の入試に係る事項」等について検討を進める。
平成27年	一般入試の志願者数が募集定員を超えない場合は、学区外許容率（10%）を超えて入学を許可することができるとした。



## 学区と高校配置に関する地区割、ブロックの県立高等学校の配置

## [学区の状況]

## [学区]

岩手県立高等学校の通学区域に関する規程に定める区域で、高等学校に就学しようとする者は、学区内の高等学校に出願することを原則とする。ただし、特例により、学区の制限を受ける者は、全日制の課程の普通科に出願する者のみとなっている。また、全日制の課程の普通科においても、定員の10%以内で学区外からの入学を認めているが、一般入試の志願者数が募集定員を超えない場合は、学区外許容率を超えて入学を許可することができるとしている。

学区名	高等学校	学区に属する区域
盛岡学区	盛岡第一 盛岡第二 盛岡第三 盛岡第四 盛岡北 盛岡南 不来方 沼宮内 葛巻 平舘 雫石	盛岡市 花巻市のうち平成17年12月31日における稗貫郡大迫町及び同郡石鳥谷町の区域 八幡平市 滝沢市 岩手郡雫石町 岩手郡葛巻町 岩手郡岩手町 紫波郡紫波町 紫波郡矢巾町 宮古市のうち平成21年12月31日における下閉伊郡川井村の区域
岩手中部学区	花巻北 花巻南 大迫 黒沢尻北 西和賀	花巻市 北上市 遠野市のうち小友町及び平成17年9月30日における上閉伊郡宮守村の区域 紫波郡紫波町 和賀郡西和賀町
胆江学区	水沢 前沢 金ヶ崎	北上市のうち相去町 奥州市 胆沢郡金ヶ崎町 西磐井郡平泉町
両磐学区	一関第一 花泉 大東 千厩	一関市 奥州市のうち平成18年2月19日における胆沢郡衣川村の区域 西磐井郡平泉町
気仙・釜石学区	高田 大船渡 住田 釜石 遠野 大槌	大船渡市 遠野市 陸前高田市 釜石市 気仙郡住田町 上閉伊郡大槌町
宮古学区	山田 宮古 宮古北 岩泉	宮古市 下閉伊郡山田町 下閉伊郡岩泉町 下閉伊郡田野畑村
久慈学区	久慈 種市 大野	久慈市 下閉伊郡岩泉町のうち安家 下閉伊郡普代村 九戸郡洋野町 九戸郡野田村
二戸学区	軽米 伊保 福岡	二戸市 八幡平市のうち平成17年8月31日における岩手郡安代町の区域 岩手郡葛巻町 九戸郡軽米町 九戸郡洋野町のうち平成17年12月31日における九戸郡大野村の区域 九戸郡九戸村 二戸郡一戸町

[高校配置等に関する地区割]

県立高等学校や学科の配置、学級数の調整を行う際の地区割（ブロック）。広域生活圏（9圏域）を基本とし、気仙・釜石学区を気仙ブロックと遠野・釜石ブロックに分割している。

学区	ブロック	ブロック内市町村	ブロック内の高等学校（平成29年度）			
			盛岡第一	盛岡第二	盛岡第三	盛岡第四
盛岡	盛岡	盛岡市	盛岡第一	盛岡第二	盛岡第三	盛岡第四
			盛岡南	杜陵（定・通）	盛岡工業（全・定）	盛岡商業
			盛岡市立			
			岩手	岩手女子	盛岡白百合	江南義塾盛岡
			盛岡誠桜	盛岡大付属	盛岡スコーレ	盛岡中央（全・通）
		八幡平市	平館			
		滝沢市	盛岡北	盛岡農業		
		雫石町	雫石			
		葛巻町	葛巻			
		岩手町	沼宮内			
		紫波町	紫波総合			
矢巾町	不来方					
岩手中部	岩手中部	花巻市	花巻北	花巻南	花巻農業	花北青雲
			大迫	花巻東		
		北上市	黒沢尻北	北上翔南	黒沢尻工業	専修大学北上
西和賀町	西和賀					
胆江	胆江	奥州市	水沢	水沢農業	水沢工業	水沢商業
			前沢	岩谷堂	杜陵奥州（定・通）	水沢第一
		金ヶ崎町	金ヶ崎			
両磐	両磐	一関市	一関第一（全・定）	一関二	一関工業	花泉
			大東	千厩	一関学院（全・通）	一関修紅
		平泉町				
気仙・釜石	気仙	大船渡市	大船渡（全・定）	大船渡東		
		陸前高田市	高田			
		住田町	住田			
	釜石・遠野	釜石市	釜石（全・定）	釜石商工		
		遠野市	遠野	遠野緑峰		
大槌町	大槌					
宮古	宮古	宮古市	宮古（全・定）	宮古北	宮古工業	宮古商業
			宮古水産			
		山田町	山田			
		岩泉町	岩泉			
田野畑村						
久慈	久慈	久慈市	久慈	久慈長内（定）	久慈東	
		普代村				
		洋野町	種市	大野		
		野田村	久慈工業			
二戸	二戸	二戸市	福岡（全・定）	福岡工業		
		一戸町	一戸			
		軽米町	軽米			
		九戸村	伊保内			

※ なお、斜体は市立高校及び私立高校となります。

## 普通科における一般入試学区外志願者数

※普通科（理数科を含む）

学区	学校名	H27		H28		H29		学区外最大 入学者数
		定員	一般入試学区 外志願者数	定員	一般入試学区 外志願者数	定員	一般入試学区 外志願者数	
盛岡学区	盛岡一（普通・理数）	280	37	280	33	280	34	64
	盛岡二	200	5	200	3	200	5	20
	盛岡三	280	12	280	27	280	30	28
	盛岡四	280	10	280	9	280	11	28
	盛岡北	240	5	240	9	240	6	24
	盛岡南	160	2	160	3	160	8	16
	不来方（人文・理数）	160	6	160	2	160	19	16
	沼宮内	80	0	80	1	80	0	8
	葛巻	80	7	80	5	80	18	8
	平館	80	1	80	1	80	1	8
	雫石	80	0	80	0	80	0	8
盛岡学区 計	1,920	85	1,920	112	1,920	132	228	
岩手 中部学区	花巻北	240	15	240	13	240	23	24
	花巻南（人文・自然）	120	1	120	0	120	8	12
	大迫	40	0	40	0	40	0	4
	黒沢尻北	240	14	240	10	240	22	24
	西和賀	40	0	40	0	40	0	4
	岩手中部学区 計	680	30	680	23	680	53	68
胆江学区	水沢（普通・理数）	240	0	240	4	240	8	60
	前沢	80	5	80	3	80	0	8
	金ヶ崎	120	2	120	2	120	3	12
	胆江学区 計	440	7	440	9	440	11	80
両磐学区	一関一（普通・理数）	240	5	240	9	240	10	40
	花泉	40	0	40	0	40	0	4
	大東	120	1	120	0	120	1	12
	千厩	120	0	120	0	120	0	12
	両磐学区 計	520	6	520	9	520	11	68
気仙・ 釜石学区	高田	160	0	160	0	160	1	16
	大船渡	200	0	200	0	200	1	20
	住田	40	0	40	1	40	0	4
	釜石（普通・理数）	200	2	200	3	200	4	56
	遠野	160	3	160	13	160	10	16
	大槌	120	0	120	1	80	0	8
	気仙・釜石学区 計	880	5	880	18	840	16	120
宮古学区	山田	80	0	80	0	80	0	8
	宮古	240	1	240	1	240	0	24
	宮古北	40	2	40	1	40	0	4
	岩泉	80	2	80	0	80	0	8
	宮古学区 計	440	5	440	2	440	0	44
久慈学区	久慈	200	0	200	2	200	0	20
	種市	80	0	80	0	80	1	8
	大野	80	1	80	0	80	1	8
	久慈学区 計	360	1	360	2	360	2	36
二戸学区	軽米	80	0	80	0	80	1	8
	伊保内	80	0	80	0	40	0	4
	福岡	200	3	200	2	200	1	20
	二戸学区 計	360	3	360	2	320	2	32
総計	5,600	142	5,600	177	5,520	227	676	

※ なお、ゴシックは平成29年度入試で一般入試の志願者が募集定員を超えなかった高校を示している。  
また、○数字は学区外最大入学者数を超える学区外志願者があったことを示している。

注1) 普通科(学区あり)と理数科(全県1学区)を併置する学校(盛岡一、水沢、一関一、釜石)は、くくり募集(入試時点では学科を分けずに一括して募集、選抜する)を行っているため、理数科の定員(40人)に普通科の定員の10%を合計した人数が、学区外からの入学者数の上限となっているものである。

注2) 平成29年度から、大槌高校は募集定員が80人、伊保内高校は募集定員が40人となっているものである。

注3) 岩手県立高等学校の通学区に関する規則の改正により、平成27年度入試から一般入試の志願者数が募集定員を超えない場合は、学区外許容率(募集定員の10%)を超えて入学を許可することができるとしている。

## ブロック間交流【3年間（H26・27・28年度）の平均】

※公立高校の全日制・定時制及び私立高校を対象（過年度卒を含む）

※転入⇒他のブロック及び県外からの転入者数

※転出⇒他のブロックへの転出者数

